

農政の動き 2015年11月20日～11月26日

◇15年産米の1等比率は83.4%（10月末現在）◇

農林水産省は、2015年産の水稲うるち玄米の1等比率は10月31日現在で83.4%と発表した。前月末比では2.2ポイント上昇。前年同期比を1.4ポイント上回り、11年産以降、10月末時点では最も高い水準となっている。2等以下への格付け理由は、心白と腹白が23.2%、着色粒（カメムシ類）が22.4%、充実度19.5%、整粒不足18.4%など。（2015年11月20日）

◇15年産ウメの収穫量 12%減の9万7900ト◇

2015年産ウメの収穫量は前年産比12%減の9万7900トとなったと、農林水産省が発表した。結果樹面積は2%減の1万5900畝で、10畝当たり収量が和歌山県などでの天候不順などにより10%（72キロ）減の616キロとなった。（24日）

◇12～2月の平均気温 東・西日本で高く◇

気象庁は、12～2月の3カ月予報を発表。平均気温は東・西日本で高く、降水量は東・西日本太平洋側で多い。降雪量は東日本日本海側で少ない。〈12月〉西日本日本海側は平年に比べ曇りや雨・雪の日が多く、北・東・西日本太平洋側は平年に比べ晴れの日が少ない〈1月・2月〉東・西日本日本海側は平年に比べ曇りや雪・雨の日が少なく、東・西日本太平洋側は、平年に比べ晴れの日が少ない。（25日）

◇EU 日本産食品の輸入規制を緩和へ◇

欧州委員会の常設委員会は、福島第1原発事故に伴い欧州連合（EU）が実施している日本産食品の輸入規制を緩和する改正規則案を了承した。①福島県産品は、野菜や果実（柿を除く）、畜産などを放射性物質検査証明対象から除外（現行は酒類を除く全品目が対象）②青森県と埼玉県を規制対象地域から除外③岩手、宮城、栃木、群馬、千葉の米、大豆、ソバなどを検査証明対象から除外——など。年内には欧州委員会で採択、施行される見通し。（25日）

◇日本の温室効果ガス排出量 前年度比3%減◇

環境省は、2014年度の日本の温室効果ガス総排出量（速報値、二酸化炭素換算）は、前年度比3.0%減の13億6500万トとなったと発表した。省エネや再生可能エネルギーの導入拡大などで電力由来の排出量が減ったため。排出量が前年を下回ったのは09年度以来、5年ぶり。（26日）